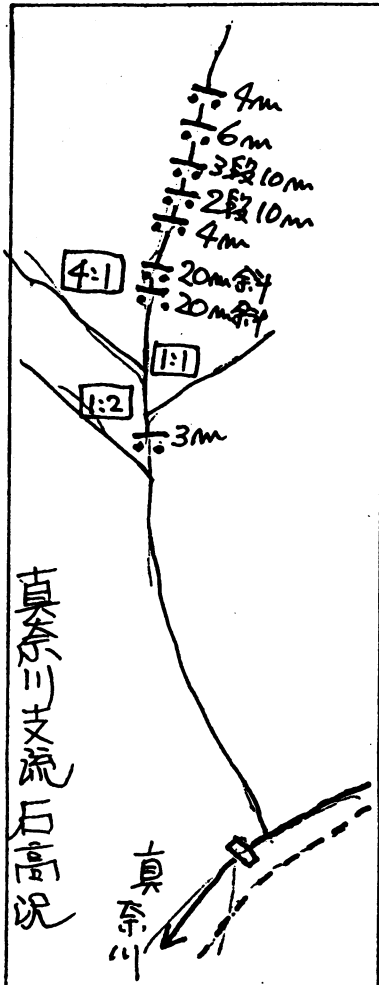


## 真奈川支流石高沢

1995年7月30日



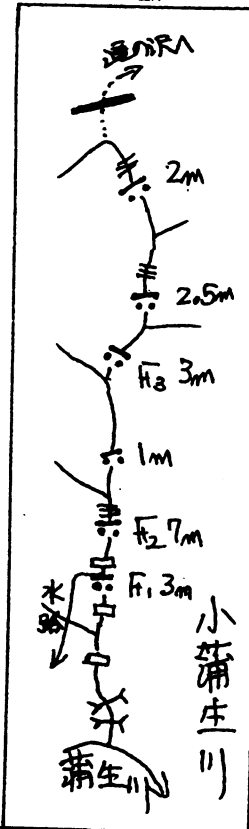
この沢の下降は、予定していたものではない。間違っ大倉沢を遡行してしまい、大倉山の三角点からの下降路として利用したものである。

大倉山山頂で降りる沢を探す。叶津川に降りないように、蒲生岳を遠目に確認して、方角を定め真奈川へ向けて下降を開始する。沢の上部を過ぎると、10~20mの滝が続いて出てくる。斜瀑なので、クライミングダウンで降りられる。

この沢は降りる時から確信がもてていない。現在地確認ができないまま、下降を続ける。滝もなくなり、河原歩きが続く。一本尾根違いの叶津川に出るのではないかと不安を抱きながら歩き続ける。下降を始めてから約2時間半で真奈川出合の砂防ダム上部に出る。ここまで来て、ようやく石倉沢を下降してきたことに気づいた。

(記・)

[タイム] 大倉山三角点・下降開始(12:05)→真奈川出合(14:40)



## 蒲生沢支流小蒲生川右俣

1994年7月30日

蒲生川との出合より入る。沢は小さく、水量も少ない。橋を2つくり堰堤2つを越えるとF<sub>1</sub>3m。この滝の上に取水地点があった。これでは下流部の水量が少なくなるはずである。F<sub>1</sub>3mは難なく越える。この先は水量がやや多くなった。